

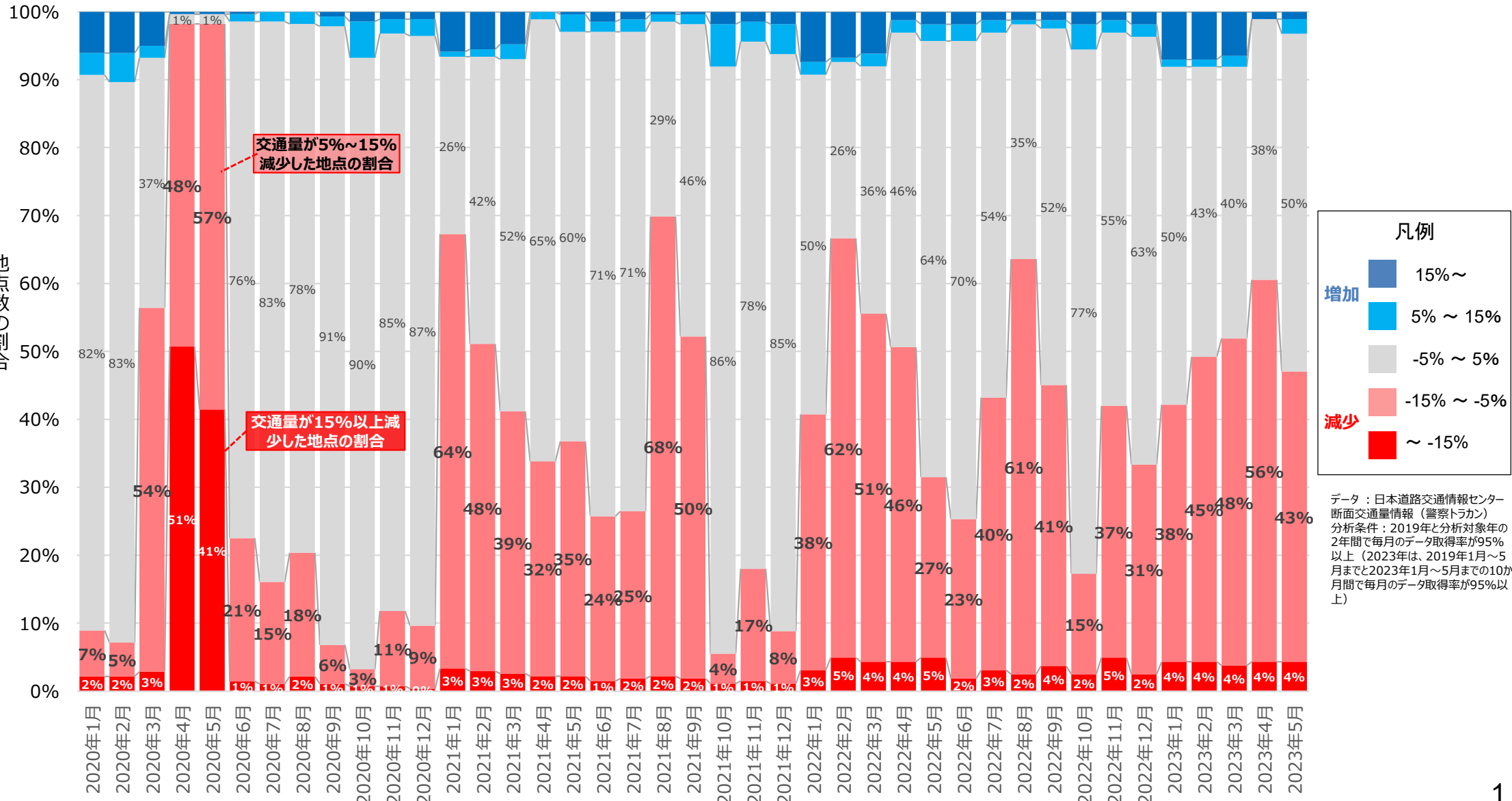
# 最新の交通状況による分析

---

# 最新の交通状況による分析

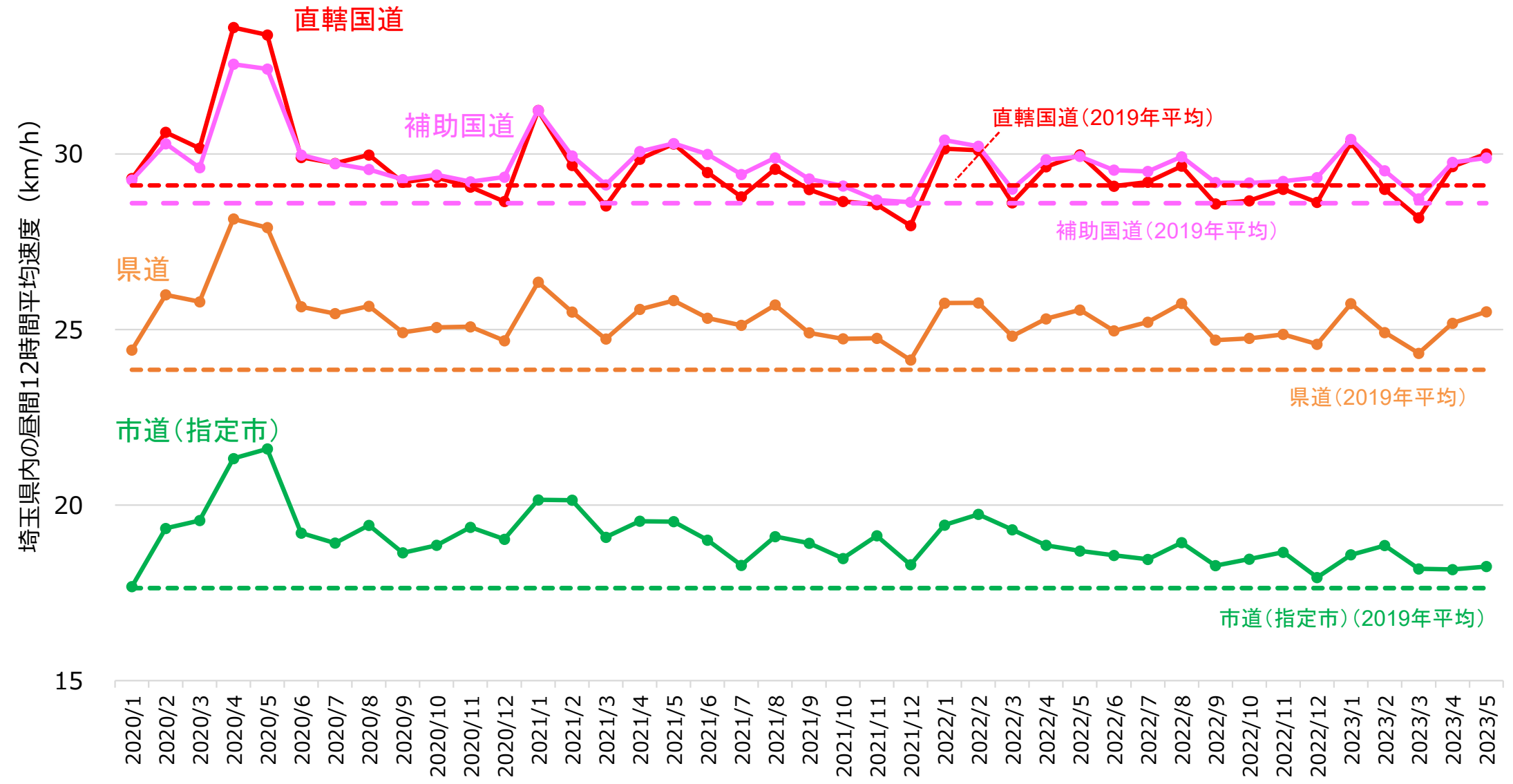
○緊急事態宣言が発令された2020年4～5月は、交通量が15%以上減少した地点が4割以上、5%以上減少した地点が9割以上。  
○コロナ禍前の2019年と比較すると、2020年以降は交通量が5～15%減少した地点が比較的多い傾向。

2019年を基準とした2020年から2023年5月までの交通量比（埼玉県内）



# 最新の交通状況による分析

○ 2020年4月～5月にかけて発令された緊急事態宣言期間では、交通量の減少に伴い平均速度が大きく上昇していた。  
 ○ 現在、直轄国道や補助国道の旅行速度は、概ね新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年と同程度となっている。  
 県道や市道においても、新型コロナウイルス感染症拡大直後と比較すると影響は小さくなっていると考えられる。



# 最新の交通状況による分析

○2022年の平均速度(直轄国道+補助国道+県道+指定市の市道)は、コロナ禍前の2019年と比較して1.0km/h程度の差である。  
 ○2022年の直轄国道の平均速度は、コロナ禍前の2019年と同程度である。  
 ○各道路において、2021年から2022年にかけて速度に大きな変化はない。

